水酸化ナトリウム試液、希　水酸化ナトリウム4.3ｇに新たに煮沸して冷却した水を加えて溶かし、1000mLとする。用時製する（0.1mol／Ｌ）。
ストロンチウム90標準液　ＪＣＳＳ校正品。
ストロンチウム標準溶液　炭酸ストロンチウム1.6849ｇを採り、水で湿らせた後、塩酸10mLを徐々に加えて溶かし、水を加えて100mLとする。この液10mLを採り、塩酸10mL及び水を加えて100mLとする。この液１mLは、ストロンチウム（Sr）１㎎を含む。
生理食塩液　［日本薬局方医薬品各条］
セルロースアセテート膜　セルロースの水酸基をアセチル化した後、適当な有機溶媒を用いて均一な薄い膜としたもの。屈折率N_D^{20}1.47～1.48。
セルロース、薄層クロマトグラフィー用　薄層クロマトグラフィー用に製造したもの。
炭酸水素ナトリウム　$NaHCO_3$　［K8622、特級］
炭酸ストロンチウム　$SrCO_3$　白色の粉末である。含量99.994%以上。融点1497℃。
炭酸ナトリウム（標準試薬）　Na_2CO_3　［K8005、容量分析用標準物質］
チオシアン酸カリウム　KSCN　［K9001、特級］
チオシアン酸カリウム試液、５%　チオシアン酸カリウム５ｇを水95mLに溶かす。
チオ硫酸ナトリウム五水和物　$Na_2S_2O_3・5H_2O$　［K8637、特級］
チオ硫酸ナトリウム試液、0.01mol／Ｌ　チオ硫酸ナトリウム五水和物2.48ｇを水に溶かし、1000mLとする。
チミン　$C_5H_6N_2O_2$　白色の結晶性の粉末である。水に溶けにくい。含量99%以上。融点335～337℃（分解）。
チミン・１―ナフトール試液　チミン0.2ｇを10w／v%水酸化ナトリウム溶液10mLに溶解し、１―ナフトールのエタノール（95）溶液（１→2500）10mLを加えて、混和する。
チモールフタレイン　$C_{28}H_{30}O_4$　［K8642、特級］
チモールフタレイン試液　チモールフタレイン0.1ｇをエタノール（95）100mLに溶かし、必要ならばろ過する。
注射用水　［日本薬局方医薬品各条､「注射用水」又は「注射用水（容器入り）」。なお、用いる試験の目的に適合する水であることが確認できれば、規格項目の全てに適合していることを確認する必要はない。］
鉄標準液、20μg／mL　1000μg／mL鉄標準液１mLを正確に量り、水を加えて正確に50mLとする。
鉄標準液、1000μg／mL　硝酸鉄（Ⅲ）九水和物の723.4㎎を正確に量り、0.1mol／Ｌ硝酸試液を加えて正確に100mLとする。
４，５，６，７―テトラクロロ―２’，４’，５’，７’―テトラヨードフルオレセンナトリウム　$C_{20}H_2Cl_4I_4Na_2O_5$　鮮紅色の結晶であり、水によく溶ける。本品の水溶液は深赤色を、また、濃硫酸溶液は褐色を呈する。含量80%以上。
テトラヒドロフラン　$CH_2(CH_2)_2CH_2O$　［K9705、特級］
デンプン　［K8658、でんぷん、特級］
デンプン試液　デンプン１ｇを冷水10mLとよく擦り混ぜ、これを熱湯200mL中に絶えずかき混ぜながら徐々に注ぎ込み、液が半透明となるまで煮沸し、放置した後、上澄液を用いる。用時製する。
トリクロロ酢酸　CCl_3COOH　［K8667、特級］
トルエン　$C_6H_5CH_3$　［K8680、特級］
１―ナフトール　$C_{10}H_7OH$　［K8698、特級］　遮光して保存する。
鉛標準原液　硝酸鉛(Ⅱ)159.8㎎を正確に量り、希硝酸10mLに溶かし、水を加えて正確に1000mLとする。この液の調製及び保存には可溶性鉛塩を含まないガラス容器を用いる。
鉛標準液　鉛標準原液10mLを正確に量り、水を加えて正確に100mLとする。用時製する。この液１mLは、鉛（Pb）0.01㎎を含む。
鉛標準液、0.5μg／mL　1000μg／mL鉛標準液１mLを正確に量り、水を加えて正確に100mLとする。この液１mLを正確に量り、水を加えて正確に20mLとする。
鉛標準液、1000μg／mL　硝酸鉛(Ⅱ)159.8㎎を正確に量り、0.1mol／Ｌ硝酸試液を加えて正確に100mLとする。
尿素　H_2NCONH_2　［K8731、特級］
尿素試液、10mol/Ｌ　尿素60.1ｇを水に溶かし、100mLとする。
ニンヒドリン　$C_9H_6O_4$　［K8870、特級］
薄層クロマトグラフィー用オクタデシルシリル化シリカゲル　オクタデシルシリル化シリカゲル、薄層クロマトグラフィー用を参照。
薄層クロマトグラフィー用オクタデシルシリル化シリカゲル（蛍光剤入り）　オクタデシルシリル化シリカゲル、薄層クロマトグラフィー用（蛍光剤入り）を参照。
薄層クロマトグラフィー用シリカゲル　シリカゲル、薄層クロマトグラフィー用を参照。
薄層クロマトグラフィー用シリカゲル（蛍光剤入り）　シリカゲル、薄層クロマトグラフィー用（蛍光剤入り）を参照。
薄層クロマトグラフィー用セルロース　セルロース、薄層クロマトグラフィー用を参照。
バソクプロイン　$C_{26}H_{20}N_2$　白色～黄褐色の、結晶性の粉末又は粉末。
バソクプロイン・エタノール試液　バソクプロイン0.1ｇをエタノール（99.5）に溶かし、100mLとする。
バルビタール　$C_8H_{12}N_2O_3$　［日本薬局方医薬品各条］
バルビタール緩衝液、pH8.6、イオン強度0.06　バルビタール1.62ｇ及びバルビタールナトリウム12.38ｇを水900mLに溶かし、塩酸を加えてpH8.6に調整した後、水を加えて1000mLとする。
バルビタール緩衝液、pH8.6、イオン強度0.075　バルビタール2.76ｇ及びバルビタールナトリウム15.46ｇを水900mLに溶かし、塩酸を加えてpH8.6に調整した後、水を加えて1000mLとする。
バルビタールナトリウム　$C_8H_{11}N_2NaO_3$　白色の、結晶又は結晶性の粉末である。水に溶けやすく、エタノール（95）に溶けにくく、ジエチルエーテルにほとんど溶けない。
　pH　本品1.0ｇを水200mLに溶かした液のpHは9.9～10.3である。
　乾燥減量　1.0%以下（１ｇ、105℃、４時間）
　含量　98.5%以上
　定量法　本品を乾燥し、その約0.5ｇを精密に量り、分液漏斗に入れ､水20mLに溶かし､エタノール（95）５mL及び希塩酸10mLを加え、クロロホルム50mLで抽出する。更にクロロホルム25mLで３回抽出し、全クロロホルム抽出液を合わせ、水５mLずつで２回洗い、洗液はクロロホルム10mLずつで２回抽出し、前後のクロロホルム抽出液を合わせ、三角フラスコ中にろ過する。ろ紙をクロロホルム５mLずつで３回洗い、ろ液及び洗液を合わせ、エタノール（95）10mLを加え、0.1mol／L水酸化カリウム・エタノール溶液で滴定する（指示薬：アリザリンエローＧＧ・チモールフタレイン試液２mL）。ただし、滴定の終点は液の黄色が淡青色を経て紫色に変わるときとする。同様の方法で空試験を行い、補正する。
　0.1mol／L水酸化カリウム・エタノール溶液１mL＝20.62㎎　$C_8H_{11}N_2NaO_3$
１，４―ビス［２―（５―フェニルオキサゾリル)]ベンゼン　$C_{24}H_{16}N_2O_2$　淡黄色の結晶で、トルエンに溶けにくい。418nmに蛍光極大を示す。融点245～246℃。
人血清アルブミン　［生物学的製剤基準］
フェノールフタレイン　$C_{20}H_{14}O_4$　［K8799、特級］
フェノールフタレイン試液　フェノールフタレイン１ｇをエタノール（95）100mLに溶かす。
１―ブタノール　$CH_3(CH_2)_2CH_2OH$　［K8810、特級］